

教科(科目)	農業(果樹)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2年(食品流通・食品製造)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させると共に、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	農場理解	果樹を含めた作物全般の生育の規則性や栽培の仕組みを知り、基礎的な管理について体験を通して学習する。	6	実習レポート 課題提出 中間考査 定期考査等
5	4、5月の管理作業	(芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等)	4	
6	6月の管理作業	(房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等)	8	
7	7月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ) (袋かけ、除草、摘果)	6	
9	9月の管理作業	(収穫管理作業、除草、マルチング、等)	8	
10	10月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ) (収穫管理作業、販売実習、等)	8	
11	11月の管理作業	収穫(ナシ、リンゴ、カキ) (収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等)	8	
12	12月の管理作業	(枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等)	6	
1	第一章 果樹の生産と利用	一年間の実習内容と関連付けながら、教科書を使って果樹栽培全般についての知識を深める。	4	
2	第二章 果樹の成長と果樹生産		8	
3			4	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	栽培技術の仕組みや果樹生産の役割など果樹の栽培と経営に関心をもち、生育状況に応じた栽培管理を行うなど果樹生産に意欲的に取り組むとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	授業態度・実習態度 実習レポート提出 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	果樹の特性と栽培環境などから果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、果樹の生育診断や栽培技術の評価など栽培や経営の状況を的確に表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的、経営的的特性と栽培技術の仕組みを理解している。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	2年(生産技術・果樹コース)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材				

1 科目目標

果樹栽培に関する体験的な学習をとおして、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	4月の管理作業	粗皮削り、芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等	8	実習レポート 課題提出 行動観察 農業クラブ活動
5	5月の管理作業	粗皮削り、芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等	8	
6	6月の管理作業		8	
7	7月の管理作業	房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等	6	
9	9月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ)	8	
10	10月の管理作業	袋かけ、除草、摘果	6	
11	11月の管理作業	収穫管理作業、除草、マルチング、等	8	
12	12月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ)	6	
1	1年間のまとめ	収穫管理作業、販売実習、等	6	
2		収穫(ナシ、リンゴ、カキ)	6	
		収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等	6	
		枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等	8	
		一年間の管理作業について系統立ててまとめをする 実習中にみつけた病害虫について、調査する	6	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	科目「果樹」での学習内容に興味関心を持ち、さらに理解を深めるため実習に意欲的に取り組むとともに栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	実習態度 実習レポート提出 プリント提出 農業クラブ活動評価 時間外総合実習 上記を総合して100 点満点で評価する
思考判断	科目「果樹」の学習内容をもとに、果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、実習した内容をレポートとして表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的特性と栽培技術の仕	

	組みを理解している。	
--	------------	--

教科(科目)	農業(果樹)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年(生産技術・果樹コース)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させると共に、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	二年次の復習	果樹を含めた作物全般の生育の規則性や栽培の仕組みを知り、基礎的な管理について体験を通して学習する。	8	実習レポート 課題提出 中間考査 定期考査等
5	4、5月の管理作業	(芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等)	8	
6	6月の管理作業	(房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等)	8	
7	7月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ) (袋かけ、除草、摘果)	8	
9	9月の管理作業	(収穫管理作業、除草、マルチング、等)	8	
10	10月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ) (収穫管理作業、販売実習、等)	8	
11	11月の管理作業	収穫(ナシ、リンゴ、カキ) (収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等)	8	
12	12月の管理作業	(枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等)	6	
1	第三章 果樹栽培の基礎 第四章 落葉果樹の栽培・利用 第五章 常緑果樹の栽培・利用	一年間の実習内容と関連付けながら、教科書を使って果樹栽培全般についての知識を深める。	8	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	栽培技術の仕組みや果樹生産の役割など果樹の栽培と経営に関心を持ち、生育状況に応じた栽培管理を行うなど果樹生産に意欲的に取り組むとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	授業態度・実習態度 実習レポート提出 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	果樹の特性と栽培環境などから果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、果樹の生育診断や栽培技術の評価など栽培や経営の状況を的確に表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的、経営的的特性と栽培技術の仕組みを理解している。	

教科(科目)	農業(果樹)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年(生産技術・生物工学)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させると共に、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
--

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	農場理解	果樹を含めた作物全般の生育の規則性や栽培の仕組みを知り、基礎的な管理について体験を通して学習する。	8	実習レポート 課題提出 中間考査 定期考査等
5	4、5月の管理作業	(芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等)	8	
6	6月の管理作業	(房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等)	8	
7	7月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ) (袋かけ、除草、摘果)	8	
9	9月の管理作業	(収穫管理作業、除草、マルチング、等)	8	
10	10月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ) (収穫管理作業、販売実習、等)	8	
11	11月の管理作業	収穫(ナシ、リンゴ、カキ) (収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等)	8	
12	12月の管理作業	(枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等)	6	
1	第一章 果樹の生産と利用 第二章 果樹の成長と果樹生産	一年間の実習内容と関連付けながら、教科書を使って果樹栽培全般についての知識を深める。	8	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	栽培技術の仕組みや果樹生産の役割など果樹の栽培と経営に関心を持ち、生育状況に応じた栽培管理を行うなど果樹生産に意欲的に取り組むとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	授業態度・実習態度 実習レポート提出 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	果樹の特性と栽培環境などから果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、果樹の生育診断や栽培技術の評価など栽培や経営の状況を的確に表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的、経営的的特性と栽培技術の仕組みを理解している。	

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年(生産技術・果樹コース)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材				

1 科目目標

果樹栽培に関する体験的な学習をとおして、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	4月の管理作業	粗皮削り、芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等	8	実習レポート 課題提出 行動観察 農業クラブ活動
5	5月の管理作業	粗皮削り、芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等	8	
6	6月の管理作業		8	
7	7月の管理作業	房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等	6	
9	9月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ)	8	
10	10月の管理作業	袋かけ、除草、摘果	6	
11	11月の管理作業	収穫管理作業、除草、マルチング、等	8	
12	12月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ)	6	
1	1年間のまとめ	収穫管理作業、販売実習、等	6	
2		収穫(ナシ、リンゴ、カキ)	6	
		収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等	6	
		枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等	8	
		一年間の管理作業について系統立ててまとめをする 実習中にみつけた病害虫について、調査する	6	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	科目「果樹」での学習内容に興味関心を持ち、さらに理解を深めるため実習に意欲的に取り組むとともに栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	実習態度 実習レポート提出 プリント提出 農業クラブ活動評価 時間外総合実習 上記を総合して100 点満点で評価する
思考判断	科目「果樹」の学習内容をもとに、果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、実習した内容をレポートとして表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的特性と栽培技術の仕	

	組みを理解している。	
--	------------	--

教科(科目)	農業(果樹)	単位数	4 単位	学年(学科・コース)	2年(生産技術・果樹コース)
使用教科書	果樹 (農文協)			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させると共に、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
--

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	農場理解	果樹を含めた作物全般の生育の規則性や栽培の仕組みを知り、基礎的な管理について体験を通して学習する。	1 6	実習レポート 課題提出 中間考査 定期考査等
5	4、5月の管理作業	(芽かき、誘引、摘花、剪定処理…等)	1 0	
6	6月の管理作業	(房作り、摘果、摘芽、袋かけ、防除、等)	1 6	
7	7月の管理作業	収穫(オウトウ・スモモ) (袋かけ、除草、摘果)	1 6	
9	9月の管理作業	(収穫管理作業、除草、マルチング、等)	1 6	
10	10月の管理作業	収穫(モモ、ブドウナシ、クリ) (収穫管理作業、販売実習、等)	1 6	
11	11月の管理作業	収穫(ナシ、リンゴ、カキ) (収穫、剪定、施肥、霜害対策、野兎防止、等)	1 6	
12	12月の管理作業	(枝別支柱入れ、雪害対策、野兎防止、剪定、等)	1 2	
1	第一章 果樹の生産と利用	一年間の実習内容と関連付けながら、教科書を使って果樹栽培全般についての知識を深める。	1 2	
2	第二章 果樹の成長と果樹生産		1 0	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	栽培技術の仕組みや果樹生産の役割など果樹の栽培と経営に関心を持ち、生育状況に応じた栽培管理を行うなど果樹生産に意欲的に取り組むとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。	授業態度・実習態度 実習レポート提出 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	果樹の特性と栽培環境などから果樹の生育状況を多面的に考察し、その生育状況に応じた栽培管理を科学的に判断するとともに、栽培管理や作業体系を改善するなど品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な能力を身につけている。	
技能表現	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な技術を身につけ、摘果、袋かけ、剪定など栽培の計画、管理、評価を適切に実施するとともに、果樹の生育診断や栽培技術の評価など栽培や経営の状況を的確に表現できる。	
知識理解	果樹の生育と環境の調節及び果樹栽培の計画、管理、評価など果樹の栽培と経営に関する基本的、体系的な知識を身につけ、果樹の栽培的、経営的的特性と栽培技術の仕組みを理解している。	